

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県小・中学校学習状況調査結果を受けた取り組みについて
武雄市立橘小学校

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

R 3 入学 現 6 年生	国語		算数	
	5 年時	6 年時	5 年時	6 年時
	県	全国	県	全国
	64.8	60	74.5	58
	(1.06)	(1.07)	(1.20)	(1.12)
R 8 正答率の全国比		0.99		1.03

◎ 5 年時は佐賀県小・中学校学習状況調査、6 年時は全国学力・学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段()は県平均を 1 としての比較。

◎ 「令和 8 年正答率の全国比」は全国平均を 1 としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

調査の結果から、国語については全国平均を下回っており、話し合いにおける発言のつながりや内容を捉え、前後の文脈から話し合いの展開を予測して適切な発言を判断する力に課題が見られる。
一方で、算数については全国平均を上回っていたが、二次元の表から複数の条件を関連付けて読み取ることによって課題が見られる。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

・国語科では、話し合いの途中で、「次にどのような発言が考えられるか」を予測する活動や前後の文脈を根拠に説明する活動を継続的に取り入れる。
・算数科では、表の縦軸・横軸が示す内容を確認し問題文から複数の条件を取り出して整理するとともに条件を関連付けながら表から必要な情報を読み取る活動を充実させる。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

・委員会活動や代表委員会などでの児童会活動で、「前の人の発言を受けて話す」ことを日常から意識させるような指導を継続する。
・また、委員会活動の中で取り扱う統計やアンケートなどから、分かったことを比較・分析し、その結果を根拠として活動の改善策を考えたり、話し合ったりすることで資料を活用して判断する力を育成する。
・週 1 回のパワーアップタイムを設定し、思考力・判断力・表現力を育成する問題に挑戦させる取り組みを継続する。